

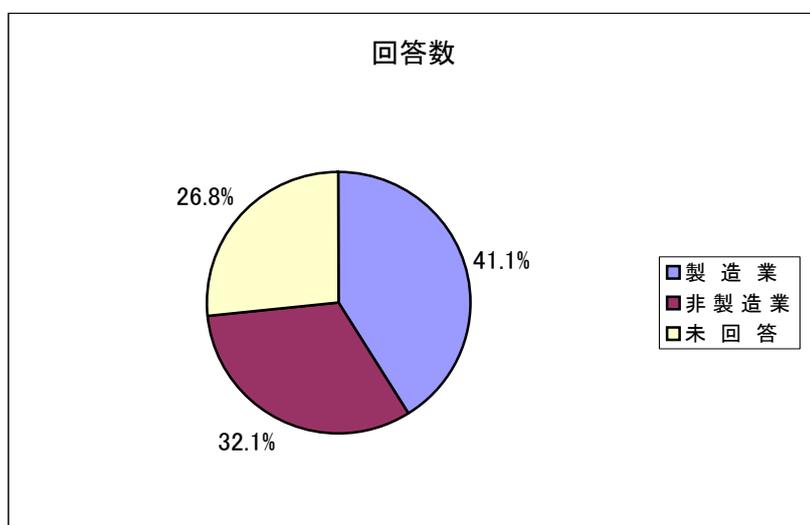
調査概要

1. 調査目的 政府発表等で景気の回復基調が伝えられている中、当所管内における実態を把握する。
2. 調査期間 平成16年2月1日～13日
3. 調査方法 FAXにより依頼、回答
4. 調査対象 当所部会役員129社中、大企業を除く中小企業112社

※DI値＝「好調＋やや好調」の回答割合から「悪い＋やや悪い」の回答割合を差し引いたもの。
数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

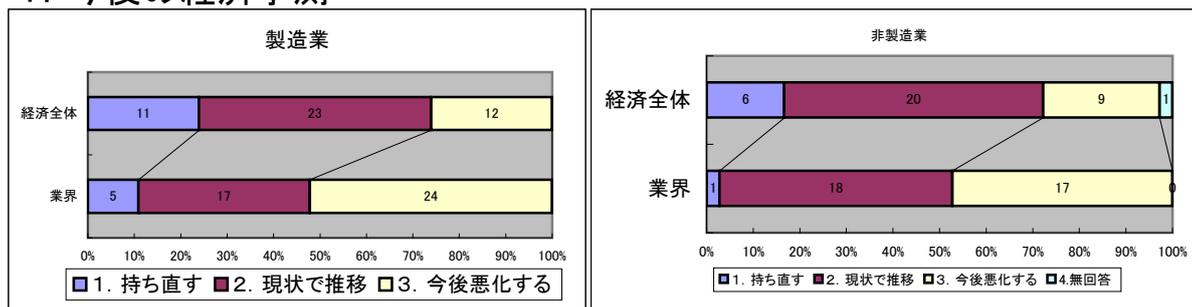
5. 回答数

	調査対象	回答		調査対象	回答	回答
一般工業	18	15	製造業	67	46	68.7%
建設業	18	12	非製造業	45	36	80.0%
醤油工業	3	3	合計	112	82	73.2%
食品工業	9	5	未回答		30	26.8%
皮革工業	19	11				
公益業	8	8				
サービス業	9	7				
商業	28	21				
合計	112	82				

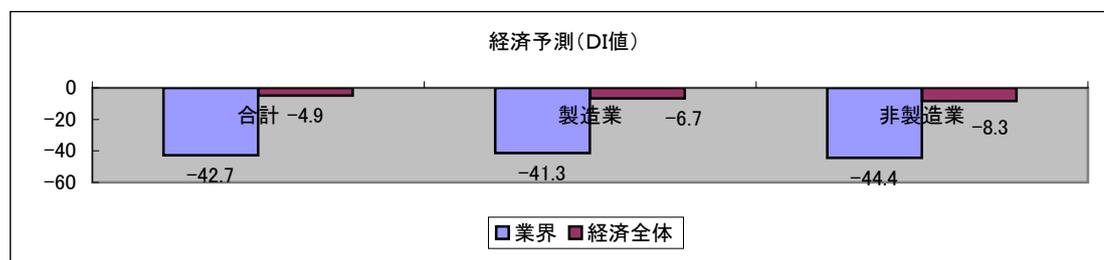


調査結果

1. 今後の経済予測

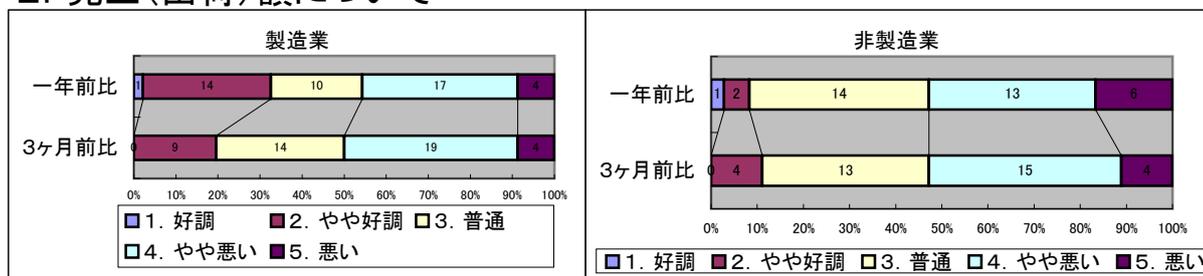


DI値	業界	経済全体
合計	-42.7	-4.9
製造業	-41.3	-6.7
非製造業	-44.4	-8.3

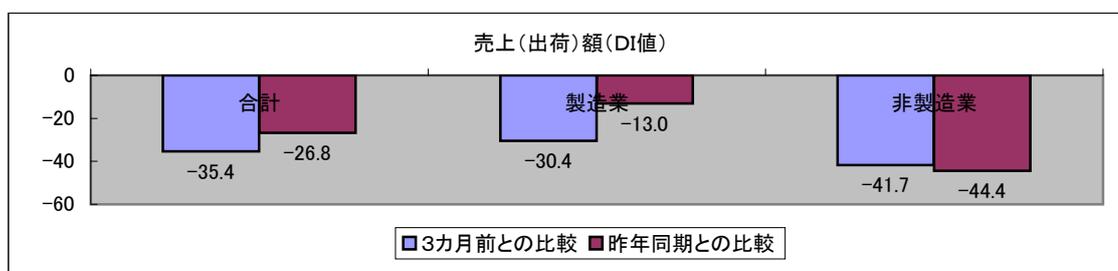


日本経済全体への予測は平均値より「やや悪い」程度の数値を示しているが、自社が属する業界への見方は厳しい。製造業と非製造業の差異は認められない。

2. 売上(出荷)額について

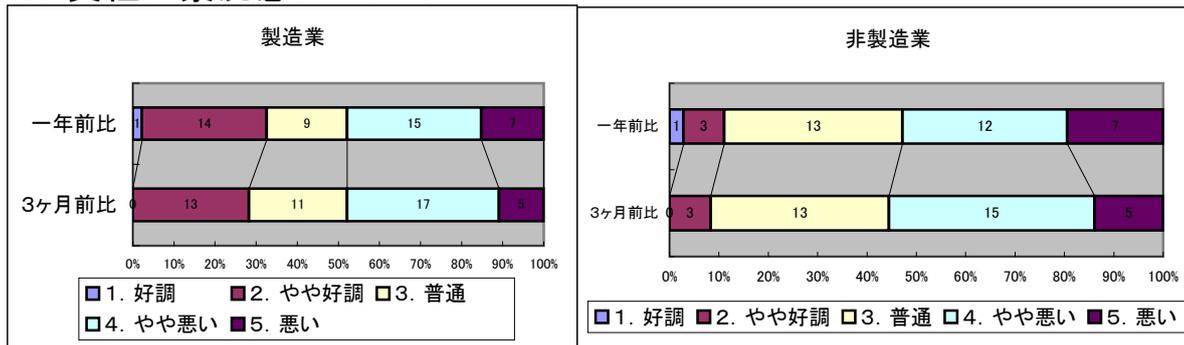


DI値	3カ月前との比較	昨年同期との比較
合計	-35.4	-26.8
製造業	-30.4	-13.0
非製造業	-41.7	-44.4

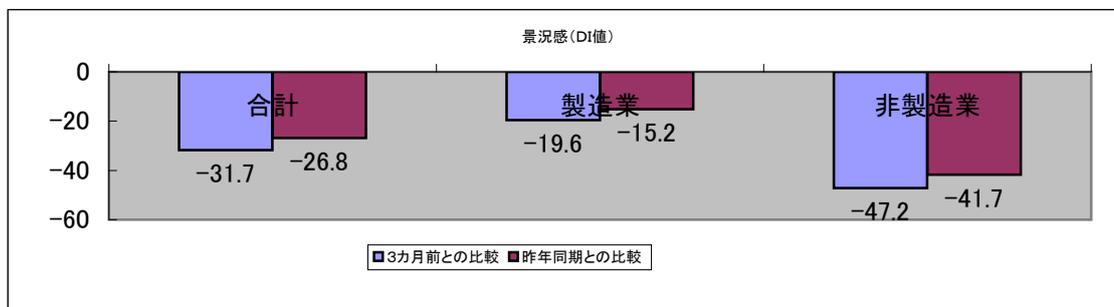


製造業は3ヶ月前比と1年前比が17.4ポイント差あり14年度第4四半期(H15年1~3月期)から15年度第3四半期(10~12月)にかけて緩やかな回復感が見られる。一方、非製造業はDI値それ自体が製造業に比べて10ポイント以上低いうえに、僅差であるが昨年比の方がマイナス値が大きく、好転の兆しが見られないことを示している。

3. 貴社の景況感について



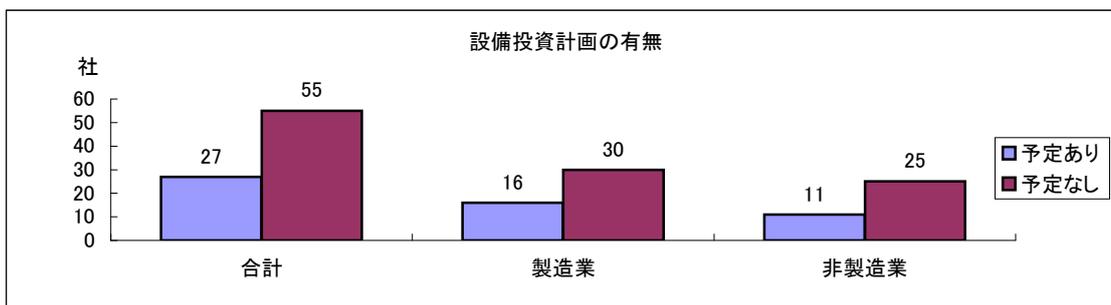
DI値	3カ月前との比較	昨年同期との比較
合計	-31.7	-26.8
製造業	-19.6	-15.2
非製造業	-47.2	-41.7



3ヶ月前比、1年前比とも製造業の方が約27ポイントずつマイナス値が低く、製造業と非製造業の景況感に明らかな差異が認められる。

4. 設備投資計画について

	予定あり	予定なし	合計
合計	27 [39.2%]	55 [67.1%]	82 [100.0%]
製造業	16 [34.8%]	30 [65.2%]	46 [100.0%]
非製造業	11 [30.6%]	25 [69.4%]	36 [100.0%]

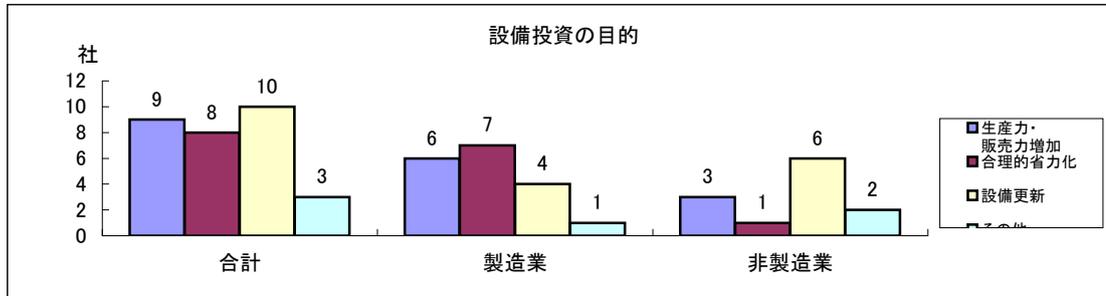


投資計画があるのは製造業、非製造業とも約3分の1。両者に顕著な差異はない。

5. 設備投資目的について

	生産力・ 販売力増加	合理的省力化	設備更新	その他	合計
合計	9	8	10	3	30
製造業	6	7	4	1	18
非製造業	3	1	6	2	12

* 複数回答



製造業は「生産力・販売力増加」、「合理的省力化」等経営力向上を目的とする回答が4分の3弱を占める。非製造業は「設備更新」が半数となっている。